

令和5年度 学校評価書 (計画段階・**実施段階**)

福岡県立嘉穂東高等学校(全日制課程)

自己評価						
学校運営計画(4月)				評価(総合)		
学校運営方針	<ul style="list-style-type: none"> 令和の日本型学校教育による一人も取りこぼさない学びの確立 デジタル・シティズンシップの育成 			B		
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標				
[成果] ① 観点別評価の改善による年間指導計画、評価規準の刷新 ② 1人1台端末の実現による学習活動の改善 ③ 企業と連携した人材育成プログラムの開発・導入開始 [課題] ① 観点別評価の検証、改善 ② 1人1台端末環境を活用した授業の一層の充実 ③ 人材育成プログラム2年目の開発	生徒を主語にした教育活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> 個性、学ぶ意欲、コミュニケーション力の伸長を実現する授業における指導と評価の一体化 新たな発想で生徒が参画したくなる行事等の工夫・改善 				
	「創造的な発信力」「吟味する思考力」「データを利活用して課題解決できる力」を醸成するしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> 1人1台端末を効果的に活用した授業改善 地域に根ざした社会に貢献する人材育成 				
	自律自走する学びを支援するしかけづくり	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した自律した学習活動の伸長 生徒主体の進路決定に導く個に応じた支援の充実 				
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)		次年度の主な課題	
学習支援	1人1台端末の有効活用	ICTの活用場を増やすことで、デジタル社会の中で行動の善悪を自分で判断できる力を身につけさせる。	B	B	教科内研修を充実させ、全体でのICT活用の好事例の共有と、実際に活用場を増やして試行錯誤を重ねることによって「日常使い」への意識を高めていく。	
		1人1台端末を活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を推進する。	B			
	観点別評価の充実	観点別評価を適切に実施し、指導と評価の一体化を推進する。	B			B
		コンテンツからコンピテンシー重視の授業改善を進める。	B			
生徒支援	自律した生徒の育成	生徒会を中心として、生徒が企画・運営する文化祭・体育祭等の学校行事を実施する。	B	A	アフターコロナで、教員主導から生徒主体の学校行事実施を一層推進するために、生徒会の研修機会を増やし、生徒による企画・運営が円滑に行えるよう指導する。校則の見直しは、必要に応じて生徒・保護者の意見を交えながら検討・実施していく。各種委員会において、更なる情報共有を行う。また、必要に応じて校内外の連携を密にし、生徒に対して適切な支援を行う。学年と連携を取り、生徒が抱える問題の早期対応を図るための、学校としての体制作りを強化していく。	
		生徒並びに保護者の意見を踏まえた校則の見直しを積極的に行う。	B			
	多様な生徒の状況に応じた指導	人権・同和教育推進委員会をはじめとする各種委員会、通級教室等、校内外の連携により、多様な生徒に応じた支援を行う。	A			A
		「心とからだのチェックリスト」等の調査・アンケートにより、生徒の悩みや不安の軽減・解消や生徒が抱える諸問題の早期対応を図る。	A			
キャリア・サポート	主体的な進路選択と実現	進路情報の提供を充実し、面接・小論文指導等、生徒の進路希望に応じたきめ細やかな支援を行う。	B	B	個々の生徒のボランティアや体験活動が全般に少ないため、校外での交流を通して、外部から評価を受けて成長していくしかけづくりを拡充していく必要がある。	
		生徒の体験活動を増やし、社会に貢献できるマインドセットを醸成する。	B			
	総合的な探究の時間の充実	人材育成プログラムによる社会のリーダー育成を図る。	A			A
		キャリアパスポートを活用し、人生設計を図り、進路目標を具体化させる。	B			

学校関係者評価	
評価(総合)	意見
B	自己評価は A : 適切である B : 概ね適切である C : やや適切である D : 不適切である
項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見
B	ICTに関しては、子どもたちが日常使いをする中で、教職員より詳しい部分も多くなっているのではないと思われる。研修等を充実させ、より効果的な教育活動が行われるよう期待する。
A	学校行事等において、生徒が主体となって実施する姿がよく現れている。新しい企画もみられ、嘉穂東高校の新しい伝統が形成されている過程にあるといえるのではないかと。
B	駅を利用している生徒がよくあいさつをしてくれている。企業体験や発表活動の場として、駅としても協力することはやぶさかではない。
評価項目以外のものに関する意見	
従来とは変わっている取組もあるので、引継をしっかりと行ってほしい。 メディアにもっと取り上げてもらえるといい。	

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

- 生徒を主体とした教育活動の一層の充実
- ICTの日常使いの推進
- 地域との連携によるキャリア教育の充実